

実施計画 2025 のふりかえりと課題

1 実施計画 2025 の振り返り

実施計画 2025 では、茅ヶ崎市総合計画で設定した 8 つの政策目標に対して、中・短期的な方向性を示す 25 の施策目標と設定して、政策目標の実現を図ってきました。実施計画 2025 の振り返りにあたっては、8 つの政策目標ごとに主な取り組みを整理した後、それらの取り組みの結果と、施策目標の指標の達成状況を確認し、それぞれの政策目標の中で実施計画 2030 において留意すべき事項について検討しました。

実施計画2025の主な取り組み				
実施計画2025の計画期間で実施した主な取り組みを記載しています。				
施策目標 指標名	現状値	目標値	実績値	状況
1 「生涯を通じて学ぶことができる環境」に対する市民の満足度	23.1%(2021)	増加(2024)	23.4%(2024)	○
実施計画2025策定前の直近の現状値を示しています。				
実施計画2025の3年間の取り組みを通して達成する目標値を示しています。				
実施計画2025の3年間の取り組みを通して得られた実績値（2025年の直近の値）を示しています。				
目標値の達成状況を示しています。○は達成、△は現状地よりは改善が図られていますが目標値は未達成、×は目標値未達成で現状値よりも悪化したものを示しています。				

実施計画 2030 の策定に当たっては、実施計画 2025 の振り返りを参考にしながら、社会情勢の変化を踏まえ、必要な取り組みを位置付けます。

2 実施計画 2025 の主な取り組みの成果と課題

政策目標 1 子どもが希望を持って健やかに成長し、次代を担うひとが育つまち

[主な取り組みの成果と課題]

妊産婦健康検査事業や産後ケア事業等の妊娠期から子育て期にかけて切れ目のない支援、小児医療費助成の対象拡大や保育所、児童クラブの待機児童解消に向けた取り組み、スクールソーシャルワーカーの配置や特別支援学級の増設によるインクルーシブな教育環境の構築、中学校給食の実施や小中学校体育館への空調の整備による安全・安心して生活できる教育環境の整備を行ってきました。

数値が向上している指標がある一方で、理想的な子どもの人数と、持つつもりの子どもの人数との差等の一部の指標では目標を達成していません。少子化を背景として国の施策も活発に展開されており、国と基礎自治体との役割分担を踏まえ、引き続き取り組んでいきます。

実施計画 2025 の主な取り組み	
- 産後ケア事業 - 母子健康手帳・妊産婦健康診査事業 - 児童クラブ待機児童解消対策推進事業 - 保育所待機児童解消対策推進事業 - 小児医療費助成事業 - 家庭児童相談事業（こども家庭センター）	- 子ども食堂支援事業 - 特別支援学級設置に関する事務 - 児童・生徒指導事業（スクールソーシャルワーカー） - 中学校給食実施事業 - 学校施設等整備事業（エアコン新設、照明 LED）

実施計画 2025 の主な取り組み					
化、大規模改修)					
施策目標 指標名		現状値	目標値	実績値	達成
1	子育てでどうしてもいかわからなくなることがあると答えた保護者の割合	58.6%(2018)	減少(2023)	58.9%(2023)	×
2	子どもを育てている現在の生活に満足していると答えた保護者の割合	就学前児童 69.0%(2018)	増加(2023)	69.3%(2023)	○
		小学生 69.0%(2018)	増加(2023)	67.4%(2023)	×
3	理想的な子どもの人数と、持つつもりの子どもの人数が同じと答えた保護者の割合	就学前児童 50.8%(2018)	増加(2023)	35.5%(2023)	×
		小学生 52.0%(2018)	増加(2023)	44.6%(2023)	×
4	学校で色々なことが分かるようになることが楽しいと思う割合	小学校6年生 51%(2021)	増加(2024)	43%(2024)	×
		中学校3年生 40%(2021)	増加(2024)	42%(2024)	○
5	教室や体育館、運動場の施設を安心して利用できると思う割合	小学校6年生 62%(2021)	増加(2024)	61%(2024)	×
		中学校3年生 54%(2021)	増加(2024)	57%(2024)	○

政策目標 2 地域が活力にあふれ、交流とにぎわいのあるまち

[主な取り組みの成果と課題]

企業移転・サテライトオフィス設置支援事業やクラウドファンディング活用支援事業等による事業者の事業活動支援や、農業人材力強化総合支援事業や漁港機能保全事業等による農畜水産事業者の生産活動と担い手支援とともに、道の駅整備やにぎわい創出事業による人の交流やにぎわいのあるまちづくりへの取り組みを実施しました。

市内事業者数や観光客消費額は増加しましたが、市内での就職機会の充実や地場産品を身近に感じるものの魅力等、一部では目標に達成していない指標があります。着実に、かつより高い効果を得るために、民間事業者と連携して、まちの活力を創出する取り組みを推進していきます。

実施計画 2025 の主な取り組み					
- 企業移転・サテライトオフィス設置支援事業 - クラウドファンディング活用支援事業 - 農業人材力強化総合支援事業 - 農業用排水路・農業用ポンプの整備事業 - 漁港機能保全事業 - 道の駅整備・管理運営事業 - にぎわい創出支援事業 - バリアフリービーチ事業					
施策目標 指標名		現状値	目標値	実績値	達成
1	市内における増加事業所数	4836社(2021)	5200社(2024)	5266社(2024)	○
2	「働く場が整っている」ことが本市の魅力と答えている市民の割合	3.3%(2021)	増加(2024)	2.7%(2024)	×
3	「海の幸や農産物に恵まれて食が豊か」であることが本市の魅力と答えている市民の割合	30.7%(2021)	増加(2024)	26.3%(2024)	×
4	入込観光客数	209万人(2021)	300万人(2024)	231万人(2024)	△
5	観光客消費額	36億円(2021)	47億円(2024)	49億円(2024)	○

政策目標 3 共に見守り支え合い、誰もが健康に暮らすまち

[主な取り組みの成果と課題]

重層的支援体制整備事業等の市民の困りごとに地域で対応するための支援や、後期高齢者保健事業等による市民の健康の保持増進・疾病予防の取り組み、介護保険・国民健康保険・生活保護・医療保険制度等の適切な制度運営に取り組みました。

困りごとを家族以外に相談する相手のいない市民の減少や、元気で過ごせる期間の延伸など大部分の指標で目標を達成しています。引き続き、自立して過ごせる環境づくりを進めていきます。

実施計画 2025 の主な取り組み					
- 災害時における要配慮者及び避難行動要支援者支援事業 - 成年後見制度利用促進に向けた体制整備 - 重層的支援体制整備事業 - 後期高齢者保健事業 - 社会保障制度（介護・国民健康保険・生活保護・医療）事業 ※継続的事业					
施策目標 指標名	現状値	目標値	実績値	達成	
1 困りごとの相談先のうち地区内で対応している割合	28.8%(2019)	増加(2024)	26.3%(2024)	×	
2 「困ったときに家族のほかに相談する相手がいない」市民の割合	12.8%(2019)	減少(2024)	10.0%(2024)	○	
3 元気で自立して過ごせる期間の延伸（平均寿命と健康寿命（平均自立期間）の差の縮減）	男性1.4ポイント(2020)	男性女性共に縮減(2023)	男性1.37(2022)	○	
	女性3.2ポイント(2020)	男性女性共に縮減(2023)	女性2.95(2022)	○	
4 「生活困窮や病気、介護などに対する支援」に対する市民の満足度	18.6%(2021)	増加(2024)	19.7%(2024)	○	

政策目標 4 誰もがいつでも学べ、生きがいを持って自分らしく暮らすまち

[主な取り組みの成果と課題]

総合体育館の空調の整備や茅ヶ崎アスリート支援、クリエイターシティ・チガサキ形成戦略等による文化・芸術やスポーツに親しむ環境の構築、ホノルル市・郡との姉妹都市提携交流事業、女性のための相談事業等による多様性を認め合う社会の実現に取り組んできました。

これらの取り組みにより市民の意識は概ね向上していますが、一部では目標を達成していない指標もあります。文化・芸術やスポーツに関しては、本市が有する資源や潜在性を活かして取り組みを展開していきます。

実施計画 2025 の主な取り組み					
- 総合体育館改修工事 - 茅ヶ崎アスリート支援事業 - 旧南湖院第一病舎等利活用事業 - クリエイターシティ・チガサキ形成戦略事業 - 博物館管理運営事業 - ホノルル市・郡との姉妹都市提携交流事業 - 女性のための相談事業					
施策目標 指標名	現状値	目標値	実績値	状況	
1 「生涯を通じて学ぶことができる環境」に対する市民の満足度	23.1%(2021)	増加(2024)	23.4%(2024)	○	
2 「スポーツを気軽に楽しむことができる環境」に対する市民の満足度	36.6%(2021)	増加(2024)	32.9%(2024)	×	
3 「国内外の都市や市民との交流の機会」に対する市民の満足度	14.1%(2021)	増加(2024)	15.6%(2024)	○	
4 社会通念・慣習・しきたりにおいて男女の地位が平等になっていると思う人の割合	10.3%(2021)	16%(2024)	10.6%(2024)	△	

政策目標 5 豊かな自然と共存し、心地よい生活環境のあるまち

[主な取り組みの成果と課題]

自然環境評価調査事業等の自然環境を将来に向けて守る取り組みや、ごみ有料化・減量化事業によるごみの発生抑制や資源化の推進、カーボンニュートラル推進事業や再生可能エネルギー事業による環境負荷が少ないまちづくりを目指した取り組み、下水道施設ストックマネジメント事業や公園愛護活動普及促進事業による本市の良好な生活環境確保の取り組みを行いました。

市民や事業者の省エネルギーや地球温暖化対策への行動変容やリサイクル率の向上などが図れていますが、自然や緑の魅力等一部では目標を達成していない指標があります。

低炭素や防災等の緑や自然の持つ多様な機能を踏まえながら、自然と共存した生活環境の構築を図っていきます。

実施計画 2025 の主な取り組み				
- 自然環境評価調査事業 - 脱炭素社会に向けた普及啓発事業 - カーボンニュートラル推進事業 - ごみ減量化に関する事業 - 焼却残渣再資源化事業 - 再生可能エネルギー事業 - 下水道施設ストックマネジメント事業（長寿命化事業） - 公園愛護活動普及促進事業 - 美化推進事業				
施策目標 指標名	現状値	目標値	実績値	達成
1 「自然や緑、水が豊か」であることが、本市の魅力と答えている市民の割合	44.2%(2021)	増加(2024)	43.6%(2024)	×
2 緑地の確保量	18.48%(2018)	19.05%(2024)	17.95%(2014)	×
3 市民1人1日当たりの資源物を除くごみ排出量	632g(2021)	504g(2024)	525g(2024)	△
4 リサイクル率	24.6%(2021)	31.9%(2024)	28.6%(2024)	△
5 「省エネルギーなど地球温暖化対策への取り組み」を実践している割合（市民）	62%(2019)	66%(2024)	64%(2023)	△
6 「省エネルギーなど地球温暖化対策への取り組み」を実践している割合（事業者）	62%(2019)	67%(2024)	65%(2023)	△
7 市域の温室効果ガス排出量	130.8万t-CO ₂ (2017)	115.7万t-CO ₂ (2024)	115.1万t-CO ₂ (2022)	△
8 生活排水処理率	97.2%(2018)	98.6%(2024)	97.7%(2024)	△
9 景観資源の累計指定件数	29か所(2019)	32か所(2024)	32箇所(2024)	○

政策目標 6 安全で安心して暮らせる、強くしなやかなまち

[主な取り組みの成果と課題]

ハザードマップの作成や防災リーダーの養成による地域防災力の向上や、千ノ川の河道拡幅や公共下水道の整備による災害に強いまちづくり、消防緊急通信指令システムの更新等による消防・救急業務の体制整備、交通安全の啓発等による身近な生活の安全の確保の取り組みを行ってきました。

災害リスクの確認実施など数値が向上している指標もありますが、人身交通事故や犯罪件数の増加、災害に備えた備蓄の実施など目標を達成しない指標があります。市民の安全確保に向けてハードの整備とソフトの対策の両面から、引き続き取り組んでいきます。

実施計画 2025 の主な取り組み				
- 要配慮者対策事業 - 地域自主防災活動促進事業 - 防災啓発事業（ハザードマップの作成・周知） - 公共下水道整備事業 - 千ノ川整備事業 - 都市防災推進事業（復興事前準備） - 消防車両整備事業 - 消防緊急通信指令システム更新整備事業 - 災害時医療救護活動の体制強化事業 - 交通安全啓発事業				
施策目標 指標名	現状値	目標値	実績値	達成
1 「ハザードマップでの災害リスクの確認」を実施している割合（市民）	61%(2019)	70%(2024)	64%(2023)	△
2 「災害に備えた食料や水の備蓄」を実施している割合（市民）	65%(2019)	73%(2024)	63%(2023)	×
3 公共下水道雨水施設の整備面積	-	10ha(2025)	5.7ha(2024)	△
4 消防力の整備率	100%(2024)	100%(2024)	100%(2024)	○
5 救急活動所要時間	平均31分47秒(2021)	現状維持(2024)	平均33分22秒(2024)	×
6 人身交通事故の発生件数	492件(2021)	482件以下(2024)	500件(2024)	×
7 身近で起きている犯罪件数	828件(2021)	711件以下(2024)	1222件(2024)	×

政策目標 7 利便性が高く、魅力的な都市空間が整うまち

[主な取り組みの成果と課題]

ちがさき都市マスタープラン等に基づき、秩序ある土地利用を誘導し、安全で快適な都

市機能を確保するとともに、浜見平地区拠点整備や茅ヶ崎駅周辺道路施設等の更新、橋りょう長寿命化修繕による都市機能の維持、幹線市道の道路改良及び歩道等の整備や地域公共交通計画の推進を実施しました。

全ての指標で現状の改善が図られており、今後は老朽化しているインフラ施設の維持管理や既に進めている都市整備を中心に取り組んでいきます。

実施計画 2025 の主な取り組み	
・浜見平地区拠点整備事業 ・茅ヶ崎駅周辺道路施設等更新事業 ・バリアフリー基本構想の推進事業	・新国道線街路整備事業 ・幹線市道の道路改良および歩道等の整備事業 ・地域公共交通計画の推進事業

施策目標 指標名	現状値	目標値	実績値	達成
1 「心地よく暮らせる居住環境がある」であることが、本市の魅力と答えている市民の割合	42.7%(2021)	増加(2024)	44.6%(2024)	○
2 市民1人当たりの年間公共交通利用回数	350.0回(2021)	383.1回(2024)	394.6回(2023)	○
3 「茅ヶ崎市バリアフリー基本構想」における特定事業計画の進捗率	33%(2021)	43%(2024)	60%(2024)	○

政策目標 将来都市像の実現に向けた行政経営

[主な取り組みの成果と課題]

(仮称)松林地区地域集会施設等複合施設整備事業や多様な主体との協働の推進等により、市民が主体的に活動するための環境整備や市民や市民団体と協働するための基盤づくりに取り組むほか、書かない窓口の導入や公金収納事務でデジタル技術を用いたサービス提供の効率化に取り組んできました。

全ての指標で目標の達成が図られており、多様な主体との協働や DX・デジタル化等、人口減少期での自立した行政運営に向け引き続き取り組んでいきます。

実施計画 2025 の主な取り組み	
・(仮称)松林地区地域集会施設等複合施設整備事業 ・多様な主体との協働の推進事業 ・企業版ふるさと納税活用促進事業 ・シティプロモーション推進事業	・書かない窓口の導入 ・公金収納等事務のデジタル化の推進 ・まちづくり情報プラットフォーム構築によるワンストップ窓口事業

施策目標 指標名	現状値	目標値	実績値	達成
1 企業版ふるさと納税実績数	4件(2021)	10件(2024)	29件(2024)	○
2 市民活動団体等との協働事業実績数	344件(2021)	450件(2024)	558件(2024)	○
3 社会増減数	+2158人(2021)	自然減を上回る社会増(2024)	+814人(2024)	○
4 「申請のデジタル化などによる多様なニーズに対応した窓口サービス」に対する市民の満足度	27.4%(2021)	増加(2024)	32.6%(2024)	○
5 将来負担比率(地方公共団体の一般会計等が、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模(国から見た自治体の財政的な規模)を基本とした額に対する比率)	33.8%(2021)	減少(2024)	17.2%(2024)	○